

上級医療情報技師能力検定試験を受検される皆さまへ

日本医療情報学会医療情報技師育成部会は、上級医療情報技師能力検定試験の実施に際し、新型コロナウイルス感染防止の観点から、受検者の皆さまに、以下の点の遵守をお願いしております。

- 1) 下記のような場合は、受検をお控えください。
 - ・発熱（37.5℃以上）、咳、咽頭痛、倦怠感、息苦しさ、味覚・嗅覚の異常がある場合
 - ・過去2週間以内に感染が引き続いている国や地域への訪問歴がある場合、またそのような者との濃厚接触がある場合
 - ・過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性と診断された者との濃厚接触がある場合
 - ・過去2週間以内に同居している者に感染が疑われた場合
- 2) 受検の際には、必ずマスク（不織布マスクに限る）を着用して、鼻や口を覆ってください。マスクを着用していない場合は、受検をお断りすることがあります。ただし、試験中の本人確認時には、スタッフの指示にしたがって、一時的にマスクを外してください。
- 3) 消毒液（アルコール除菌シートを含む）やウェットティッシュは使用して差し支えありませんが、試験中は机の上に置いてください。なお、消毒液やウェットティッシュを使用したことによって答案用紙等が汚染・破損しても、取り替えには応じませんので、ご注意ください。
- 4) 試験会場や試験室に入室する際には、備え付けの消毒液で、必ず手指の消毒を行ってください。なお、試験室によっては、入室の際に検温をお願いする場合がありますので、ご承知おきください。
- 5) 受検中に体調が悪くなった場合は、試験監督者や試験監督補助者等のスタッフにその旨を申し出て、スタッフの指示に従ってください。
- 6) トイレなど、試験会場で人が並ぶ場所では、前の人との間隔を空けてください。
- 7) 昼食を許可している試験会場では、試験会場で昼食を摂ることは差し支えありませんが、自分の座席で「黙食」してください。また、会話をする場合は、必ずマスクを着用してください。